

日本中間子科学会学生奨励賞規定

平成26年9月9日制定

- 第1条 本規定は、日本中間子科学会が学生会員に対して行う表彰に関して定めたものである。
- 第2条 本表彰は、中間子科学に関する優秀な論文を発表した学生会員に対し「学生奨励賞」を授与し、その功績を称えることを目的とする。
- 第3条 表彰対象は、中間子科学に関する優秀な論文（修士論文、または、博士論文、または、国際会議のプロシーディングスまたは学術雑誌に掲載された論文）を発表した、あるいは、発表予定の本会学生会員であり、かつ本賞をまだ受賞していない者であって、以下の資格を有するものとする。
（1）応募年度に学生会員である者、あるいは、応募年度の前年度の時点で学生会員であった者
（2）対象とする論文の筆頭著者であること。ただし、共著者がアルファベット順に記載されている場合は、論文の主要執筆者であること。
- 第4条 表彰人数は、毎年2名を上限とする。
- 第5条 受賞者には、会長名の賞状を授与し、副賞を贈呈する。
- 第6条 受賞者は、原則として、受賞後の総会において、受賞記念講演を行う。
- 第7条 選考委員会は、応募者の中から受賞候補者を選出し、審査の経緯と推薦理由を運営委員会に文書で報告する。運営委員会は、選出された受賞候補者を審議し、受賞者を確定する。
- 第8条 本規定の実施に必要な事項を細則に定める。
- 第9条 本規定の改正は、総会の決議による。
- 付則 本規定は、平成26年10月1日より施行する。

日本中間子科学会学生奨励賞細則

平成26年9月9日制定

1. 公募方法

会長が、毎年度1回、締め切り日の1ヶ月以上前に、会誌「めそん」および学会のホームページに公募文を掲載する。

2. 応募方法

応募は、指導教員の推薦による。

提出書類

- 1) 履歴書
- 2) 学会発表リスト
- 3) 発表論文リスト
- 4) 修士論文または博士論文のコピーあるいは要約（学位論文は未完成でもよい）、または、国際会議のプロシーディングスまたは学術雑誌に投稿された論文の別刷りあるいはコピー（掲載未決定でもよい）
- 5) 指導教員の推薦理由書（2000字以内。英文も可）

提出書類は、電子ファイル（pdf ファイル）をCDで庶務委員長まで郵送するか、あるいは、電子メール添付で、庶務委員長に送ること。

3. 選考委員会

- 1) 選考委員会は、会長、副会長、庶務委員長を含む10名程度で構成する。
- 2) 選考委員長及び選考委員は会長が推薦し、運営委員会で決める。
- 3) 関係者は選考委員会から除外する。

- 4) 選考委員会が5名未満となった場合は、選考委員会の判断で追加できる。
 - 5) 選考委員会は、必要な場合有識者の意見を求めることができる。
- *関係者：受賞候補論文の共著者、学位指導教員、現職の直属の上司、その他選考委員会が認めた場合。

4. その他

本細則の改正は、運営委員会の決議による。

日本中間子科学会学生奨励賞実施スケジュール

平成26年9月9日制定

1. 選考委員会の結成：運営委員会は毎年8月頃までに選考委員会を結成する。
2. 募集の案内：会長名で、毎年9月頃出版される「めそん」に公募文を掲載し、日本中間子科学会のホームページにも公募文を掲載する。(平成26年度は「めそん」への掲載を省略する)
3. 募集締切日：毎年11月末日とする。
4. 受賞候補者の決定：選考委員長は、毎年12月に選考委員会を開催し、受賞候補者(上限2名)を選出する。
5. 受賞者の決定：選考委員長は、選考委員会終了後、運営委員会で審査の経緯と推薦理由を運営委員会に文書で報告し、運営委員会は選出された受賞候補者を審議し、毎年1月上旬までに受賞者を決定する。
6. 応募者への通知：選考結果を毎年1月上旬までに推薦者に通知する。受賞者には、最も近い総会における受賞記念講演(5分～10分)を依頼する。
7. 授賞式：会長は、賞状と副賞を準備し、最も近い総会において授与する。
8. 受賞者の紹介：「めそん」と日本中間子科学会のホームページにおいて受賞者を紹介するとともに、受賞記念講演の内容を掲載する。